

人間性の実践

アメリカとロシアが冷戦後最大のスパイ交換を行ったのはウィーン空港だった

「自分にとって『最も遠い人』は誰？」

そこに住むクルド系イラン人の女の子に尋ねると、少し間を置いて
イスラエル人、と答えた

モスクワでの年越しでもらったマグには

金のアクセントがついた青い編み目模様があり

それは第二次世界大戦中にドイツ軍がレニングラードを包囲した時の
爆風から守る窓の目張りと空を照らすサーチライトをあらわしていた

ソビエト連邦の崩壊でその支配から自由になったラトビアでは

ラトビア語とロシア語がまちを二分し

旧ソ連につながるものを否定する人々は

「～でない」ことで自分らしさを確かにしようとしていた

アパルトヘイト撤廃から二十五周年を祝う南アフリカでは

色だけでなく、訛りが対立のしるしとなり

他のアフリカ諸国から来た人々への暴力というかたちで
日常への不満が露わとなった

そんな社会で椅子の数や並べ方に思いを巡らせている頃

海の向こうでは権利を求める人々が

その微妙な違いをまとめて大きな力に異議を唱え、立ち向かっていた

世界は大きく動いたし、動いている。そして複雑に絡み合ってる

かつて民主化の道をたどった社会や自由を得た人々の

今に見えるのは

新たな人との隔たり

また別の何かとの相容れない日常

その「反」の動きは、さまざまなかたちの人間らしさを明らかにする

逆らう、抗うという行為は深い感情に根ざして

そこで起きる摩擦は活気と熱意を与え

世界のなかの自分を積極的に省み、実現し

心の動きが発露する凝縮された瞬間のようにも映る